別紙１　　　　　　　平成３０年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立西脇中学校　　校長名　　西　野　　　孝　　　　　作成日　平成３０年　５月　１日

学校教育目標

共に　豊かに　生きる

生きる

21世紀に生きるにふさわしい基本的な学力と生活習慣を身につけた生徒

共　に

助けあい、励ましあい、共に

高めあっていく生徒

豊かに

誠実で、思いやりがあり、社会貢献のできる個性豊かな生徒

確かな学力

ゆたかな心

開かれた学校

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 本年度の重点目標 | ◎家庭との連携を密にし、保護者や地域に信頼される開かれた学校をめざす。  ◎学校運営協議会を設置し学校、保護者、地域住民が協働して学校運営を進める。  ◎地域の共育コミュニティ等と積極的に交流し、地域と共に育つ学校をめざす。 | ◎道徳教育を推進し、基本的生活習慣や規範意識、学習規律を育成するとともに社会貢献に資する精神を育む。  ◎学校行事や学級活動など、体験的な活動を通して「誠実で、思いやりがあり、個性豊かな生徒」を育て、主体的に進路を選択する力を育成する。 | ◎「学び合いの授業」を通して、生徒の関心・意欲が高まる授業の工夫・改善をし、生徒の学びの定着を支援する。  ◎「きのくに学力定着フォローアップ」事業を活用して、若手教員の授業力向上をはかる。 |
| 目標達成に向けた  具体的方策 | ○生徒指導上の課題について、保護者との迅速な連絡・連携によってよりよい協力関係を築き、課題解決にあたる。  ○ぐるりんメール、Webページ、学年通信等を通して、学校の予定や学校生活の状況を積極的に広報・発信する。  ○愛育会（ＰＴＡ）活動との連携協力により、学校の安全や美化活動などを充実させる。  ○地域行事や西脇共育コミュニティの活動と連携し、教育活動への理解と協力を得る。  〇学校運営協議会において保護者や地域住民の意見を求め学校運営に反映させる。 | ○「時を守り、場を清め、礼を正す」の精神に則り、校内美化と整理整頓に努め、学習環境を整える。  ○「学び合いの授業」によるグループ学習の手法を活かし、学級活動、学校行事、生徒会活動や部活動などで「誰にも出番がある学校」をめざす。  ○ゲストティーチャーの活用や体験的な活動を通して、自主的・実践的態度を養い、道徳的実践力を育む。  ○職場体験学習を中心としたキャリア教育を充実させ、「個々の生き方」に応じたきめ細かい進路指導を心がける。 | ○「学び合いの授業」による授業改善で一人ひとりの学びを保障し、個に応じた学力の伸長をめざす。  ○ICTの活用や言語活動の充実等により、基礎基本の定着を重視するとともに、生徒の興味・関心・意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる授業をめざす。  ○「きのくに学力定着フォローアップ」事業アドバイザーの先生に、若手教員の授業に対する指導をお願いし、教職員全体の授業実践力を向上させることで、生徒一人ひとりの学びを支援する。 |
| 指標 | 〇学校の様子がよく伝わった（保護者90%）  〇学校運営協議会を設置し、共育コミュニティの活動と関連させながら活動を行う。（教師90%) | 〇学校が楽しいと感じる。(生徒80%)  〇いじめの早期発見早期解消に取り組む。（解消率100%）  〇自分には良いところがある。  （生徒肯定的70%） | 〇県学習到達度調査で基本問題の標準化得点が前年度を上回る。  〇授業力向上のため全学年学期に2回の研究授業を行う。（3年は3学期1回） |